

柘植地域

まちづくりだより

第185号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五一九-一四〇二

電話 四五-八八八〇 FAX 四五-八八八三

発行日

二〇一七(平成)二十九年三月十五日(水)

柘植地域内12か所にカラー版設置中です

柘植地域俳句コーナー
引鳥や

教室の窓

よく拭かれ
桑原智代美

女性部会全員が関わって…

5回目の 手作りひな人形展

女性部会



2月下旬から3月中旬まで、青竹に入った手作りひな人形たちが「まちのにぎわい」を創り出してくれました。

地域内約50力所の事業所・個人様宅にはひな人形の展示にご協力いただきました。ありがとうございます。まちを行きかう人にすぐわかるように工夫して展示いただくなど、住民の皆さまからたいへん好評の声をいただきました。

今回は干支の「とり」と15周年を迎えた「柘植の斎王群行」をテーマとして、ひな人形たちで表現をしてみました。3月3日(金)には、地元有志による琴の演奏(「さくらさくら」)



と日本舞踊も行ない、お茶席も盛り上がりました。

まち協の取り組みを紹介するコーナーでは、いがまち展覧会で使った揭示物をはじめ、黒豆加工品



の販売や黒豆茶試飲、自主防災や斎王群行の取り組み等を紹介しました。特に「斎王なりきり体験」では地元在住のベトナムの方や柘植(上町区)に移住してこられた小学生・保育園児たちが体験してくれました。



また4日、6日には、地域の能面愛好家による能面・狂言の展示もありました。



柘植保育園の園児や中学生、介護士の先生ら、利用者のみなさん、数の方にお越しいただきました。

柘植保育園の園児や中学生、介護士の先生ら、利用者のみなさん、数の方にお越しいただきました。



の要望に沿って協力して
くださる地域の方々、また展示の協力を
してくださる方々、作品を見に来て
くださる方々のおかげであると女性部
会一同感謝しております。



な地域のつ
じがつ、感
性部員が
28名全勢
な全員の
立場に関
れたこと
私たちが
できた成果
でした。



男子12名
女子6名

柘植中学校 卒業式

3月7日(火)、たくさんの
思い出と将来への希望を胸に
18名が巣立っていきました。

卒業おめでとうございます

みんなでサクランボ植えたよ!

3月13日(月)午後、ぐずつ
いたお天気でしたが、恒例の
がまち造園組合様による卒業
念樹植栽行事が柘植保育園で
り、駐車場北の一角に、卒業
定見(年長児)がみんなで土を
かけて植樹をしました。



新生、柘植保育園1周年!

区長さん
お疲れさまでした



城出(上村) 林田(前川) 藤井(山出) 久泉(岡鼻) 梅澤(野村) 半田(下町)
岡島(倉部) 松山(小杉) 中川(中柘植) 鈴木(柘植青葉台) 平野(上町) 宮脇(小林)
<敬称略>

あいさつ集①

区長様に、各区やまち協の実情をふまえて、今後のまちづくりへの思いをいただきました。(順不同・敬称略)

上町区長 平野努

柘植地域は高齢化が進み農業者の後継者不足や耕作放棄地の増大、空き家の増加等；地域の課題は多い中、今、一人一人が元気な地域づくりをいかに自信をもって進めていくかが問われている時期です。私が区長として関わってきた活動の中心にはいつもそのことがありました。

区内の様々な世代間の活動、伝統的行事は地域の活性化の源であると思うと同時に、継続することの難しさも実感しました。誰もが地域で安心して暮らせる事を願っています。そのためには地域組織による支えあいが必要であることもまちづくりの活動を通じて実感することができました。区長退任後も元気なまちづくり活動に関わって行きたいと考えています。

上村区長 城出憲一

早いもので、区長就任以来2年。区長になった時には、柘植地域の方との面識が殆ど無く心配しましたが、同級生4名がおり安堵したのを記憶しています。

区長部会・運営委員会・生活環境部会等の会議を重ねるうちに色々な人との出会いがあり、仕事で経験したことのない体験をさせていただきました。

また、生活環境部会の副部長として月2回の不法投棄パトロールに参加し不法投棄の処理等を行うことにより、他区の現状が見え

ました。

少子高齢化が急速に進む中、各区共に同様の問題を抱えています。上村区にあっても、各組の在り方、幹部の在り方、出合いの在り方、空き家問題、農業後継者問題等、種々多様であり今後どのようにしていくか、問題が山積しているのが現状です。これらの問題をいかにして解決していくか、柘植地域の情報を共有しながら一つ一つ前向きに取り組む必要があります。

まちづくり協議会としても、今は改革の時期に来ていると思います。規約の改正、保育園跡地活用の早期実現等を踏まえ、後世に引き継ぐ為に今は何をすべきか、問題を洗い出していく必要があると思われれます。

野村区長 梅澤一美

野村区は、高齢化率40%を上回っています。そして60歳以上が区民の半分を超える状況となっております。

そのため、家の跡継ぎ、空き家、農業の後継者等さまざまな深刻な問題がすでに生じています。また、高齢になると避けて通れない介護問題が今後大きくなると考えられます。

これらは、個人で解決できる問題ではなく、地域全体で取り組まなければならぬ課題です。今、あらゆる機会を通じて、区民の皆さんに高齢化等の状況を報告し、今後、地域全体での課題解決のための、地域の協力、連携などについて考えているところです。

山出区長 藤井 登

当区は、少子高齢化の進展や人口減少から、様々な問題・課題が生まれてきて、これまでの区行政運営等では対応しきれない、いわゆる

る「崩壊集落」の状況下にあるのではと考えられています。

現在、区と区民が一体となり、元気が出るよう、元気をなくさないよう、今できる取り組みに奮闘しているところですが、その成果や効果が目に見えて現れてきていないのが現状でもあります。

また、区民の年齢構造から、今の取り組みの継続は、難しい状況にあることが十分予想され、区行政の大きな変革の時期に来ているものと考えています。他区にあっても、同様な状況下にあるのではと思います。

そこで、今後のまちづくりに協議会におきましては、これら問題・課題への対処方法や解決方法などを研究、研修等を行うことにより、区に対しての指導又は示唆等をいただける協議会でもあつて欲しいと思います。

小林区長 宮脇照巳

この2年間、区恒例行事等をはじめ、市道の側溝修繕(市から材料支給)を幹部等の出合いで施工したり、みんなの里山整備活動推進事業の補助金により沿道の危険大木の除去や区山整備・ふれあい広場整備等を施工しました。やり残したことは次期区長さん引き継ぎたいと思います。

「柘植地域まちづくり」では所属部会の作業や大きなイベントに参加しました。これからもまち協活動を支援していきたい。

岡鼻区長 久泉剛

岡鼻区は、柘植12区の中でも人口の少ない地区であり、また高齢者率も4%と非常に高い地区となっています。区の役員についても高齢者が12%を占めており、あと10年も経て

ば高齢者が6%になります。

区の行事運営にも支障を来してくることは必至です。更に柘植まちづくり協議会での行事についても協力が必要となる為、人員の確保が困難になると思います。今後は、まちづくり協議会、区の行事、運営のあり方等、再考し見直しが必要な時期がやってくると思われます。

中柘植区長 中川善博

「まちづくり協議会運営委員」の一員として地域や区がかかえる課題とそれを解決していくためにはどうすればよいのでしょうか？中柘植区においても少子高齢化が顕著です。

また、壮年会員並びに消防団員の確保にも困難な状況も見られます。人口減少と高齢化のもと、区の諸行事を棚卸し(行事・事業の見直し)することはなかなか容易なことではありませぬ。どの年代の区民も等しく様々な行事・事業に参加する事により、区内の親睦と融和が図られていることも事実です。

幸い当区においては、「見守りネットワーク」により、地域で高齢者を支える体制が構築されており、今後はその体制を区民で支え発展させることが肝要であると考えます。

一方、農業に目を向けると60代、70代が主にその経営と作業に携わっており、担い手(後継者)がいる世帯は限られるなど今後の農業の継続に不安があります。営農団体の構築と農作業の協業化が喫緊の課題です。

倉部区長 岡島秀夫

柘植地域の課題はなんといいっても高齢化率の急上昇でしょう。すでに40%を越え、準限界集落となった地区、あと数年で限界集落と

いう現実があります。いずれ、組やまた区でも再編成の必要に迫られる時が来るのではないのでしょうか。地区内にある様々な組織の大半の役員が高齢者であり、また、役職を掛け持っている。高齢化に歯止めをかけるのは、Uターン・ターンの等を何とかして勧めることしかなく、さらに流出を防がなくてはならない。それには住みよいまちづくりが欠かせないので、その『住みよいまち』とはどのようなまちなのか、もっともっと議論が必要だと思えます。

★★★事務局だより★★★

▼月例の行事のほかに、年度末を迎え、決算業務などに気をとがらせているところです。

▼また柘植地域として「伊賀市との基本協定書」にもとづく推薦業務の人選が難航しています。また各区でも、「新体制づくりが難しい」という声が聞こえてきます。

▼記事にある区長様のあいさつの中にも苦しい実情が読み取れます。「これまでの20年とこれからの20年は違う」「棚卸(見直し・縮小)をマイナスととらえていては道を誤る」と今年地域づくり研修会で学んできました。これまでの経験だけに頼らずにぜひ現実を地域みんなが見据えていくべきと思っています。

▼教育ボランティアへのお礼集会が柘植小学校で13日に行われました。毎年ですが、小学生のみならず、心のこもったお礼の品をいただきました。今年もステキな「手作りのネームプレート」です。

▼人口減少・少子高齢化の時代、地域の子どもたちがしっかりと育ってくれることを支援したいものです。(西田方計)

